

# 2011 年度事業報告 (2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日)

## 1. 啓発事業

- (WHO 憲章精神を普及するための健康に関するセミナー等の開催及び機関誌・広報等の啓発事業)
- (1) ホームページの拡充とメールマガジン発信
- ホームページにおいて、協会の組織基本情報、WHO 憲章や組織に関する情報、機関誌内容等を公開するとともに、従来の「お知らせ」を「ニュース」と名称変更のうえ内容を充実し、WHO から発信される情報の紹介や WHO 神戸センターのイベント情報等を逐次発信し、協会や WHO の活動その他健康啓発情報についての広報を行った。更に、そのコンテンツについて、より積極的能動的な情報提供としてメールマガジンを発刊し、事業年度中 25 回の配信を行った。
- (2) セミナーの開催
- WHO への理解を深め、健康への関心を高めて頂く目的で次のとおりセミナーを開催した。
- ● 2011 年 7 月 23 日(土)第 15 回関西感染症フォーラム(共催)  
「病棟常駐薬剤師の役割～抗菌薬への関わり～」  
講師：講師：公立八鹿病院薬剤部主任 岡田良典 氏  
「床ずれのラップ療法と感染対策」  
講師：たかせクリニック顧問 鳥谷部俊一 氏  
「ワクチンの最前線」  
講師：国立感染症研究所感染症情報センター室長 谷口清州 氏  
「感染制御に関する最近の話題」  
講師：東京医療保健大学大学院感染制御学教授 大久保憲 氏
- ● 2011 年 9 月 29 日(木)市民健康講座 (共催)  
「都市と健康」  
講師：日本 WHO 協会 理事長 関 淳一氏  
対談：産経新聞社大阪本社編集委員 坂口至徳氏
- ● 2011 年 12 月 3 日(土)人的貢献推進セミナー (共催)  
「世界の子ども達(未来)へ、僕らができること」  
「NGO から見た国際小児保健医療」

講師:特定非営利活動法人 HANDS 溝上芳恵氏

「国際機関から見た国際小児保健医療」

講師:四街道徳洲会病院 国際医療部長 黒岩宙司氏

「国際小児保健医療総論」

講師:日本 WHO 協会 理事 中村安秀氏

- 2012年3月8日(木)フォーラム「歯と健康 Oral Health for a Healthy Life」

「今、何故歯と健康か」

講師:日本 WHO 協会 理事長 関 淳一氏

「糖尿病と歯周病の不思議な関係」

講師:滋賀医科大学 付属病院長 柏木厚典氏

「生きる力を支える歯科医療」

講師:大阪府歯科医師会 常務理事 深田拓司氏

「歯科健診を普及するために」パネルディスカッション

司会:産経新聞社 編集・論説委員 坂口至徳氏

- (3) 機関誌の発行
- 「目で見ると WHO」誌を次のとおり継続発行し、会員やイベント参加者等関係先への配布のほか、国立国会図書館をはじめ都道府県立図書館等へ送付した。
- 第 46 号 特集「震災特集」2011年6月発行
- 第 47 号 特集「アフリカの健康・水・いのち」2011年10月発行
- 第 48 号 特集「子ども達・未来へ」2012年3月発行

- (4) その他啓発事業
- 世界保健デー記念イベントとして、2011年4月に日本医学会総会においてステージパフォーマンス「アフリカの健康、水、いのち」を開催すべく準備し東日本大震災によりイベントは中止したが、企画内容については機関誌第 47 号にて発表するとともに、大震災に対しては募金事業を行った。

## 2. 研究事業

- (健康に関する調査研究の受託・委託及び助成並びに研究成果に基づく提言等の研究事業)

- (1) ①「歯周病と糖尿病の関係及びその予防に関する研究」を受託し、研究報告をまとめるとともに、その成果としての提言をフォーラム「歯と健康」に反映させた。
- (2) 日本の技術を応用した保健衛生分野における適正技術の国際普及に関する研究」の  
受託研究を行った。

### 3. 連携事業

- (国内外で健康に関する社会貢献活動を行う企業、団体並びに個人との連絡・調整・協力等の連携事業)
- (1) (財)日本国際連合協会の国際連合公用英語検定試験事業、NPO 法人むし歯予防フッ素推進会議の第 35 回むし歯予防全国大会事業、大阪糖尿病協会の「世界糖尿病デーおおさか 2011」事業について後援名義使用を許諾し、事業に協力した。
- (2) 大阪市すこやかパートナーへの参加により加盟健康関連団体との関係を構築し、その中で(財)大阪市環境保健協会との協力により 2011 年 9 月 29 日(木)市民健康講座「都市と健康」事業を実現した。
- (3) 国際保健医療学会学生部会との協力関係を構築し、2011 年 12 月 3 日(土)人的貢献推進のための人材開発セミナー事業「世界の子ども達(未来)へ、僕らができること」を共同開催した。
- (4) 大阪糖尿病協会主催による「世界糖尿病デーおおさか 2010」のイベントを後援した。  
主会場(IMP ホール)での行事に理事長が出席しあいさつを行った。

### 4. 支援事業

- (WHO の事業目的達成に寄与するための募金活動及び募金収益の拠出並びに活動協力等の支援事業)
- (1) エイズ撲滅を進める目的で募金活動をセミナー等の機会を活用して継続実施し、集まった金額に事業費を加え、エイズ撲滅基金への拠出支援を行った

- (2) 東日本大震災に対し、被災医療機関支援による被災者健康への貢献を目的とする義捐金募集活動を前年度より継続実施し、寄せられた募金総額 7,986,440 円の全額を（社）日本病院会へ寄付し同会から被災医療機関へ分配提供することを通じて目的に沿った支援を行った

## 5. 人材開発事業

- （国内外の健康の向上につながる人材の育成・援助等の人材開発事業）
- 日本から WHO をはじめ国際保健衛生分野で活躍する人材を増やす人的貢献の推進をかね、国際保健医療学会学生部会に呼び掛けてフォーラム「子ども達・未来へ」を開催した。
- ② WHO 西太平洋地域事務局のインターンシップ対象者で支援要請のあった1名に対し、活動支援助成金を提供した。

## 6. その他事業

- （その他本協会の目的達成に必要な事業）
- WHO、WKC 及びその関係者との交流を進めた  
WHO 神戸センターの新旧所長との面談交流をはじめ、WKC フォーラム等に関するホームページでの告知広報やイベント参加による協力を行った。
- ② 公益法人への移行準備を進めた。